

## 平成28年12月定例会 議事録

- ・日 時：平成28年12月1日（木）19：00～20：50
- ・場 所：石川県NPO活動支援センター「あいむ」ロビー
- ・出席者：五十嵐、池田、大竹、黍野、木村、今度、蓮井、村中、山崎、吉田  
（計5名）
- ・欠席：なし
- ・進行・記録：大竹

### 《議題》

1. 金沢市議会「金沢らしい都心軸の形成を目指して」報告と意見交換
2. 金沢市民交通まちづくり「市民フォーラム」について
3. その他

### 《内容》

#### 議題1について 「金沢らしい都心軸の形成を目指して」報告

- ・日時 11月22日（火）19：00～20：30

場所 玉川こども図書館 2階交流ホール

主催 金沢市議会 建設企業常任委員会

- ・当会からの参加者

村中、蓮井、木村、大竹

- ・当日の感想、コメント

建設企業委員をはじめとする市議と有識者との意見交換がメインだった。

有識者は、金沢大学環境デザイン学類小林講師、星稜大学経済学部佐野准教授、星稜大学経済学部曾我教授、松下建築構造設計松下代表、近江町市場商店街振興組合吉村理事長、片町商店街振興組合小間井副理事長。

前半は片町や武蔵地区等まちなかのビルの建替、震災対策、再開発の話題が主だった。

後半は、都心軸への人の呼び込み、賑わいづくりなど活性化の話題が中心だった。その手段として佐野准教授がLRT導入を切り出すと他の有識者からは賛同する意見が相次いだ。片町商店街の小間井氏については、以前の当会主催のフォーラム参加時よりLRTについての理解が深まっている模様。

市民との意見交換の時間が少なく残念。発言者のほとんどがクレマーの類이었다。内容もテーマとは異なる的はずれな発言に終始した。怒号や怒声、市議への罵声や罵倒が飛び交って異常な雰囲気のまま強制的に打ち切られた。

中には、路面電車導入を否定する発言者もいた。内容は宇都宮市で反対運

動を行っている主張と同様で、予算額の数値的な誤りや弊害の誇張が目立った。しかし市議や一般市民がこの主張を鵜呑みにして誤解することが懸念される。

後日談として市議会関係者からの話では、このような総会屋類いの札付き市民の暴走行為を防ぐためにあえて時間を短縮したとのこと。悪質な市民のために善良な市民の発言の場が失われている。

## 議題 2 について

### 金沢市民交通まちづくり「市民フォーラム」について

日時 11月23日(水・祝) 16:00~18:30

場所 金沢市文化ホール 大集会室

主催 金沢市交通政策課

#### ・当会からの参加者

吉田、黍野、木村、村中、大竹、蓮井

#### ・当日の感想、コメント

(基調講演 地域公共交通・みんなでつくりあげる勝利の方程式)

土井勉氏の講演は期待どおりで満足するものだった。内容的にもう少し講演時間があつた方がよい。

説明の中で勝利の方程式では、「サービスの強化」と、「利用者増加」のどちらが先かとの命題に、土井氏は「サービスの強化」が優先と断言した。

これまで金沢の場合、有識者からは公共交通の利用促進には「市民の意識改革が必要…」という話ばかりで、すべてを市民の責任にしていた主張とは真逆の主張であつた。

金沢は不幸にして公共交通を専門とする学識経験者が不在。土井氏のような頼りになる専門家の登場が望まれる。

(金沢市からの説明 公共交通の現状と新交通システム導入の意義)

松本交通政策課長の説明については、例えば新交通と石川線の乗り入れに言及するなど、これまでより進展が感じられた。

資料では、近年利用者が微増もしくは横ばいとなっていた。これまでの取り組みの成果かもしれない。

資料では、クルマを減らし公共交通への転換を促す目的なのに、新交通導入により自動車交通へ影響が出ることが「課題」としている点は、まだまだマイカー族に遠慮している。

(パネルディスカッション)

市民代表のパネリストが年配の方々ばかりだったが若手の参加も必要ではないか。

若干の質疑応答があったがこれでも不十分。本来市民との対話というなら、高岡の万葉線のようにキャラバン型のミニ集会が必要ではないか。規模は少人数だが町会単位で100回以上開催したという。

市民からの意見や質問には磯部交通政策部長が真摯に答えてくれた。これまでは、市民グループからの意見は疎んじられたり敬遠されたりだったが、配慮が感じられ少しは変化してきている。

東京や関西などの有識者のパネリストからは新交通に前向きな意見や提案を受けたが、肝心の地元のコーディネーターが「事なかれ型」にまとめ、終わらせてしまったので失望した。

金沢ではいまだに交通事業の路線別単独収支にこだわっている有識者がいる。欧州では、LRTに税金投入するが沿線の住民等にそれ以上のリターンがあるため市民全体が賛同している。有識者といいつつ、社会的便益やまちづくりの基本を理解していない。

(アンケート)

設問内容が、新交通システム導入というより既存の路線バスの改善に関するものが多い。新交通導入と言いながら、軌道系新交通を諦めさせバスで我慢させる誘導質問の狙いが垣間見える。

原文を誰が立案したのか分からないが、わざわざ県外の有識者から応援いただき、せっかく盛り上がったフォーラムの後に水を差す内容である。相変わらずの消極さが目につき失望した。

しかし、市民の皆さんで徹底的に意見を述べて提出して欲しい。インターネットで回答可能なので、友人、知人、家族にも勧めて欲しい。

議題3について

①あいむ運営会議について

当会は今回欠席した。前回の要望で夜は10時まで使用可となるなど成果はあった。

②人と環境にやさしい交通をめざす全国大会 in 福井

日時 11月27日(日) 10:00～

場所 福井市AOSSA(JR福井駅東口)

金沢の関係者で出席を考えていた人がいたようだが、福井、高岡、岡山など先進的で前向きな地域の関係者ばかりが参加するため、金沢の人間としては

大変参加しづらい雰囲気があったとのこと。

③外国人との交流会

関係者の感触が鈍いので、学生などの若者との交流を検討してみてもどうか。

④ホームページの改善について

会員からの意見や提案のコーナーを検討してみる。

次回予定 … 定例会 29年1月12日(木)、19:00～ 「あいむ」にて